

## 2017年度 高円宮杯第10回東北U-15みちのくリーグ開催要項

- 1 趣 旨 公益財団法人日本サッカー協会(以下、日本協会という)は、日本サッカー界の将来を担うユース(15歳以下)の少年達のサッカー技術向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、第3種年代の加盟チームが参加できる大会として、本大会を実施する。
- 2 名 称 2017年度 高円宮杯第10回東北U-15みちのくリーグ
- 3 主 催 (一社)東北サッカー協会
- 4 主 管 (一社)東北サッカー協会三種委員会  
(一社)青森県サッカー協会三種委員会 (公社)岩手県サッカー協会三種委員会  
(一社)宮城県サッカー協会三種委員会 (一社)秋田県サッカー協会三種委員会  
(特非)山形県サッカー協会三種委員会 (一財)福島県サッカー協会三種委員会
- 5 後 援 東北中学校体育連盟  
青森県教育委員会 岩手県教育委員会  
宮城県教育委員会 秋田県教育委員会  
山形県教育委員会 福島県  
岩手県中学校体育連盟 秋田県中学校体育連盟
- 6 期 日 2017年4月1日(土)～10月31日(火)  
トレセンマッチデーを除く土日・毎月2,3週を基本とする。  
カレンダーによりホームゲーム開催日を指定し、節合わせを基本とする。
- 7 会 場 出場チームにより決定(ホーム主催チーム及び開催県FAが用意する。)
- 8 参加資格
  - (1) 日本協会に第3種登録したチームであること。
  - (2) (1)項のチームに登録された選手であること。  
2002年4月2日以降に生まれた選手であること。
  - (3) 日本協会により「クラブ申請」を承認されたクラブに所属するチームについては同一クラブ内の別のチームに所属する選手の移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。この場合、同一クラブ内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることができる。なお、本項の適応対象となる選手の年齢は第4種年代とし、第3種およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。4種年代の出場は6年生に限り認める。各試合への登録選手としては、最大3名とする。
  - (4) (1)から複数チームが参加する場合、同一リーグに参加することはできない。
  - (5) 中学校のチームにおいては、校長の出場承認を受けたチーム、その他のチームについては、組織を代表する者の承認を受けたチームとする。  
また、全日程に参加できるチーム編成であること。
  - (6) ピッチを提供できるチーム。(自チームの施設以外でも可)
- 9 参加チーム
  - (1) 2017年度は、2016年度北東北リーグ上位4チームと南東北リーグ上位4チーム計8チームから構成されるトップリーグを新設する。
  - (2) 北東北リーグ5位から9位の5チームと青森、岩手、秋田の各県リーグからの昇格チーム計8チームから構成されるチャレンジリーグ北、同じく南東北リーグ5位から9位の5チームと宮城、山形、福島各県リーグからの昇格チーム計8チームから構成されるチャレンジリーグ南で実施する。
  - (3) 2018年度以降は前年度のトップリーグ下位2チームは、チャレンジリーグ北またはチャレンジリーグ南に降格する。チャレンジリーグ北、南各1位はトップリーグへ昇格する。各県リーグ1位で昇格権を持つチームの昇格については、トップリーグのリーグから降格するチーム数によって、リーグ北、南リーグから昇格するチーム数が変わるため、北リーグ7位と各FAリーグから昇格権を持つ3チーム計4チームによるプレーオフを行って昇格(残留)するチームを決定する。南リーグについても同様とする。
- 10 競技方法
  - (1) 8チームで構成されるトップリーグ、青森、岩手、秋田3県8チームで構成するチャレンジリーグ北、宮城、山形、福島3県8チームで構成されるチャレンジリーグ南で実施する。

- (2) トップリーグは、8チームによる2回戦総当たりホームアンドアウェイ方式、各チーム14試合を行う。チャレンジリーグ北は、8チームによる2回戦総当たりホームアンドアウェイ方式、各チーム14試合を行う。チャレンジリーグ南も、8チームによる2回戦総当たりホームアンドアウェイ方式、各チーム14試合を行う。
- (3) 試合時間は80分、インターバルは10分とする。
- (4) 順位の決定については以下の順とする。
  - ① 勝ち点(勝ち3点、引き分け1点、負け0点)
  - ② 得失点差
  - ③ 総得点
  - ④ 当該チームの対戦成績
  - ⑤ 抽選

11 競技規則 大会実施年度の日本協会競技規則による。

ただし、以下については本大会規定を定める。

- (1) 大会参加申し込みした選手のうち、各試合の登録選手は最大20名とする。
- (2) 参加申込時に明記されたGKを含む11人(プロテクト選手という)を当該リーグ以外のリーグに出場できないこととする。11人については、参加申込時に明記する。
  - ・各県リーグには、この旨を通知すると共に県リーグの実施要項にプロテクト選手の条項を加える。
  - ・プロテクト選手の変更については、8月21日(月)～25日(金)の期間に1回限り可能とする。
  - ・選手の追加については、8月31日(木)をもって最終とする。追加の手続きは、各チームから所属県3種委員長へ追加申請を毎週月曜日までに行い、木曜日までにリーグ事務局(北または南及び東北3種委員長)に書類とともに送付・通知する。その週末の試合から有効とする。
  - ・変更の手続きは、各チームが所属県の3種委員長及びリーグ事務局へ追加と削除の申請を行い、3種委員長が確認の上事務局(トップリーグ、チャレンジリーグ北または南及び東北3種委員長)へ書類とともに送付・通知する。
  - ・それ以降については、次の場合は認める。  
大会期間中に一家転住等の理由により移籍または追加登録した選手が大会参加を希望する場合、当該県3種委員長および東北3種委員長が別途承認した場合に限り認める。
- (3) 選手の交代については、競技開始前に登録した最大9名の交代要員の中から最大9名までとする。
- (4) ベンチ入りできる人員は14名(指導者5名、選手9名)を上限とする。
- (5) 本大会において退場を命じられた選手は、次の試合に出場できず、それ以降の処置については東北サッカー協会規律・フェアプレー委員会において決定する。本リーグで未消化の場合は、高円宮杯全日本ユースサッカー選手権東北地域大会に反映させる。
- (6) 本大会期間中に警告を3回受けた選手は、次の試合に出場できない。  
ただし、この処置に該当する試合は本大会のみとする。

12 参加申込

- (1) 参加申込書に必要事項を記入の上、選手登録用紙と合わせて各所属県の第3種委員長およびリーグ事務局宛に電子メールで提出する。
- (2) 提出締切
  - トップリーグ：2017年3月17日(金)
  - チャレンジリーグ北：2017年3月17日(金)
  - チャレンジリーグ南：2017年3月17日(金)
- (3) 参加料 60,000円
  - 指定された各リーグの申し込み期日までに下記口座まで振り込む
  - 振込先金融機関 ゆうちょ銀行818店 普通預金
  - 振込先口座名 一般社団法人東北サッカー協会3種委員会
  - 振込先口座番号 4200177

#### 東北3種委員長

福島県 福島県サッカー協会 市橋 保司  
住所 郡山市土瓜1丁目230  
電話/FAX. 024-953-5626/953-5627  
携帯電話 090-1939-9046  
電子メール fa-fukusima@jfa.or.jp 自宅:ya147ichi@gmail.com

#### トップリーグ

事務局 ブラウブリッツ秋田 栗原 英毅  
住所 秋田市山王3-1-7 東カンビル1F  
電話 018-874-9777 FAX. 018-827-5083  
携帯電話 090-4383-4122  
電子メール e.kurihara@blaublitz.jp

#### チャレンジリーグ北

事務局 FCあきた  
電話 018-839-9275 FAX. 018-839-9275  
携帯電話 090-1497-0497  
電子メール watanabe@scakita.jp

#### チャレンジリーグ南

事務局 モンテディオ山形庄内 塩川 岳人  
電話 090-3011-3360 FAX. 0235-33-0903  
携帯電話 090-3011-3360  
電子メール tshiokawa@montedio.or.jp

#### 13 ユニフォーム

- (1) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)は正の他に、副として正と異なる色彩のユニフォームを参加申込の際に記載し、各試合に必ず携行すること。(GK・FPとも)
- (2) シャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない。
- (3) ユニフォームには選手番号を付けなければならない。番号は1から99までの整数とする。ユニフォームの色彩は参加申込書に記載されたものとする。
- (4) 選手は、試合前に提出されたメンバー表に記載された番号をシャツの前面・背面に付けなければならない。ショーツは、上記の番号を付けることが望ましい。その他については日本協会のユニフォーム規程による。

- 14 審判員 このリーグの審判は、主審については東北3種委員長より東北サッカー協会審判委員会へ派遣を依頼する。副審については、その氏名について予め東北サッカー協会審判委員会に届け出て承認を得ること。

- 15 代表者会議 参加チームの代表者会議を2017年2月5日(日)仙台市で実施する。

#### 16 負傷及び事故の責任

- (1) 参加チームは必ず傷害保険に加入していること。
- (2) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うこととする。

#### 17 その他

- (1) このリーグに参戦するチームは各県の各種第3種大会においてはシード等で考慮する。
- (2) 2017年度の高円宮杯全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会にトップリーグ1位に出場権を与える。上記大会東北地域予選大会には、トップリーグ2位から8位の7チームとチャレンジリーグ北、南16チームが出場できる。
- (3) (2)の代表に東日本大震災復興祈念カップを授与(持ち回り)する。
- (4) 本大会要項に記載されていない事項が生じた場合は、東北3種委員会(実行委員会)で協議の上対応する。(各県リーグ優勝チームが昇格しない場合など)  
※上位リーグへの昇格について、チャレンジリーグ1位はトップリーグへの昇格の権利を要する。  
※各FAリーグ1位はチャレンジリーグ昇格プレーオフに参加する権利を有する。
- (5) 地震などの災害時には利用施設の災害対応マニュアルに従い避難すること。

雷雨時の対応については、JFAのサッカー活動中の落雷事故防止対策についての指導を基に、主催者において決定する。雷雨等により試合続行不可能な場合は、原則再試合とする。ただし、後半30分を過ぎている場合は、その時点でのスコアをもって試合成立とする。なお、その試合での警告及び退場は有効となる。（累積等による出場停止の消化も同様に有効）

- (6) 試合開始70分前にマッチコーディネーションミーティング(会場責任者、主審、両チーム代表者)を開催する。

その際、

- ・チームはメンバー用紙を4部及び選手証を提出する。
- ・また、大会規定の確認やユニフォームの決定、注意事項の説明等を行う。
- ・未登録、選手証のない選手は出場出来ない。

※どのような形でも、選手証が提示できるように準備すること。

- (7) 試合の変更について、原則として認めない。ただし、自然災害、移動中の事故、集団食中毒等やむを得ない事情が生じた場合に限り、これを認める。

その際、

- ・当該チームはリーグ事務局に承認を求めた後、関係するすべてへ速やかに連絡すること。
- ・変更後の日程、会場等を明確にすること。
- ・変更後の日程の消化については、最終節までに行う。全日程ともリーグ最終日までの日程の中で消化すること。

※代表者会議時、会場確保が確定しないものについては、後日調整しリーグ事務局及び東北3種委員長へ報告すること。